

モーツァルト200合唱団 第30回演奏会
刈谷国際音楽コンクール受賞者記念演奏会

モーツァルト

「レクイエム」KV626

と き ● 令和3年9月12日(日)

3:00pm.開演(2:15pm.開場)

ところ ● 刈谷市総合文化センター大ホール

入場料：3,000円

●チャイコフスキー ロココの主題による変奏曲

チェロ独奏：梶原葉子

●グリーク ピアノ協奏曲 イ短調

ピアノ独奏：中道 舞

●モーツァルト レクイエム KV626

指揮：三澤洋史

管弦楽：セントラル愛知交響楽団

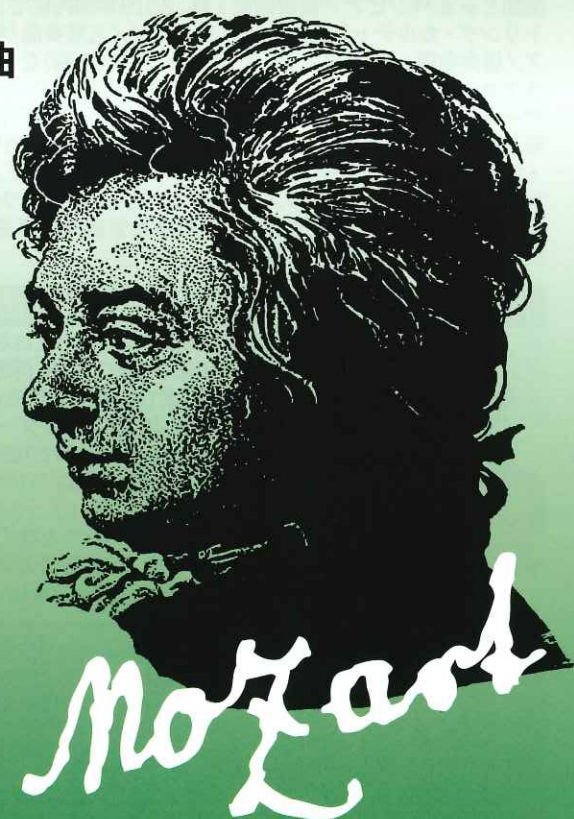
オルガン：吉田 文

独唱：S.飯田みち代 A.三輪陽子

T.神田豊壽 B.鈴木健司

合唱指揮：山本高栄

合唱：モーツァルト200合唱団



●主催／モーツァルト200合唱団、刈谷国際音楽コンクール実行委員会

●共催／刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター

●後援／愛知県、愛知県教育委員会、愛知県合唱連盟

ホームページ モーツァルト200合唱団 <http://mozart200chor.web.fc2.com/>

刈谷国際音楽コンクール <http://kariya.imc.com/>

お問い合わせ／モーツァルト200合唱団 (担当：河田090-7959-6504)

刈谷市総合文化センター 0566-21-7430

指揮者 三澤洋史



国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。1999年から2003年までの5年間「バイロイト音楽祭」で祝祭合唱団指導スタッフの一員として従事。2011年、文化庁在外研修員としてミラノ・スカラ座を研修。それらの経験を生かして、新国立劇場合唱団指揮者として同合唱団を世界的レベルにまで高めた。2016年、オペラに於ける合唱指揮者としての業績が評価され、JASRAC音楽文化賞受賞。新国立劇場合唱団は、2018年ミュージック・ペンクラブ賞の室内楽、合唱部門で受賞。作曲家としては、ミュージカル「おにころ」「愛はてしなく」「ナディーヌ」及び「Missa pro Pace (平和のためのミサ曲)」などがある。愛知祝祭管弦楽団を率いて、ワーグナー作曲の四夜にわたる楽劇「ニーベルングの指環」全曲を2016年から1年に1作ずつ上演し、2019年で完結。その業績が大きく評価された。バッハに深く傾倒し東京バロック・スコラーズをホームグラウンドにして活動している。CDモテット集は、雑誌「レコード芸術」で準特選に選ばれた。

グreek ピアノ協奏曲 イ短調 中道 舞



大阪府箕面市出身。3歳よりピアノを始める。第61回全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。第3回、第4回クオリア音楽フェスティバルオーディションいずれも高校生部門第1位。第3回イモラ国際ピアノオーディション大学一般部門第1位、及び優秀賞一席。イモラ音楽院夏季講習会(伊)におけるPianoAwardファイナリスト。第17回シヨパン国際ピアノコンクールin ASIA 大学生部門 地区大会金賞 アジア大会銀賞、第18回同コンクール コンチェルトC部門 地区大会金賞 アジア大会銅賞。第5回 刈谷国際音楽コンクール 一般の部 グランプリ、及び愛知県知事賞、刈谷市長賞。2010年、2012年 MusicAlp 夏季国際音楽アカデミー(仏)において、ジャック・ルヴィエ氏のマスタークラスを受講。受講者選抜演奏会に最年少で出演。

2017年ポーランドにて、ポーランドシレジアフィルハーモニー管弦楽団とシヨパンピアノ協奏曲第1番、2019年国内にて、ワルシャワ・ストリング・カルテットとシュベルトピアノ五重奏曲「鱈」、シヨパンピアノ協奏曲第1番(ケヴィン・ケナー、ドンベック編)を共演。バーゼンドルフアー東京サロンやカワイ表参道パウゼにおいて、ランチタイムコンサートに出演。ピアノを迫昭嘉、有吉亮治、クラウディオ・ソアレスの各氏に師事。ピアノデュオを角野裕氏に師事。また学内にて、アナヒト・ネルセシアン、シャンドル・ファルヴァイ、学外にて、アンジェイ・ヤシンスキ氏のマスタークラス、プロニスワヴァ・カヴァラ、ディーナ・ヨッフエの各氏のレッスンを受講。東京藝術大学音楽学部を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程在学中。

チャイコフスキー ロココの主題による変奏曲 梶原葉子



兵庫県姫路市出身。8歳よりチェロを始める。これまでにチェロを野田祐子、北口大輔、河野文昭、苅田雅治の各氏に師事。これまでに、なら国際音楽セミナー、霧島国際音楽祭マスタークラス、エッタルル夏期国際アカデミーの各セミナーを受講。第20回パルナソス音楽コンクール入賞。第6回刈谷国際音楽コンクール弦楽器部門一般の部準グランプリ(グランプリなし)。好きな食べ物は幼少期から変わることなく餃子。兵庫県立姫路東高等学校を卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、現在同大学院修士課程2年に在学中。

オーケストラ セントラル愛知交響楽団



1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。2015年半田市と音楽文化振興の協定を締結。2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」受賞、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

第7回 刈谷国際音楽コンクール

■開催部門：弦楽器(ヴァイオリン・チェロ)/フルート/ピアノ

■開催日程

- 2021年8月 9日(月) フルート部門 小学生の部/中学生の部/高校生の子予選/一般の子予選
- 2021年8月10日(火) フルート部門 高校生の部本選/一般の部本選
弦楽器部門 中学生の部/一般の子予選(高校生を含む)
- 2021年8月11日(水) 弦楽器部門 小学生の部/一般の部本選(高校生を含む)
- 2021年8月23日(月) ピアノ部門 中学生の部/高校生の部予選/一般の部予選(高校生も可)
- 2021年8月24日(火) ピアノ部門 小学生の部/高校生の部本選/一般の部本選(高校生も可)
- 2021年8月29日(日) 授賞式・受賞者記念コンサート

■会場 刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール

■審査員 弦楽器部門 大谷康子、近藤薫、苅田雅治
フルート部門 高木綾子、橋本岳人、大西圭子
ピアノ部門 迫昭嘉、練木繁夫、加藤美緒子、田村響

■主催：刈谷国際音楽コンクール実行委員会

■共催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター(KCSN共同事業体)

■後援：愛知県、刈谷音楽協会、一般社団法人 刈谷青年会議所、一般社団法人 日本弦楽指導者協会(JASTA)

■協賛：(株)豊田自動織機、トヨタ紡績(株)、(株)デンソー、アイシン精機(株)、(株)ジェイテクト、トヨタ車体(株)、愛知製鋼(株)、豊田通商(株)、角文(株)、刈谷ハイウェイオアシス(株)、(株)レクスト知多

モーツァルト200合唱団

モーツァルト200合唱団は、1989年にモーツァルト没後200年を記念して発足した合唱団です。オーケストラを伴う西洋古典宗教曲を中心に、バッハからハイドン、ベートーヴェン、ワーグナーまで様々な作曲家を取り上げてきました。とりわけモーツァルト作品の連続演奏は高く評価され、平成11年には愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞しました。

現在団員は60名。毎週火曜日にお時間のとれる方、モーツァルト、ワーグナー音楽が好きの方、是非私たちと一緒に歌いませんか? いつでも見学大歓迎です。

今後の演奏会予定は、来年、三澤洋史先生作曲の「ミサ・プロパーチェ」の演奏会を予定しています。2019年に突然現れた新型コロナウイルス感染拡大により、全てが一変してしまいました。音楽の世界は大きく揺さぶられ、人々の心が様々な影響を受けてしまいました。そのような時代に「ミサ・プロパーチェ」を演奏出来ることは、何という幸運かと考えています。「ミサ・プロパーチェ」は人々の心に直接響き安らぎを与えてくれる大曲です。是非、混声合唱版世界初演に加わって下さい。

演奏会予定：第31回演奏会 三澤洋史 混声合唱版世界初演
「ミサ・プロパーチェ (平和のためのミサ曲)」
2022年9月11日(日) 刈谷市総合文化センター 大ホール

団員募集 常任指揮：三澤洋史 ヴォイス・トレーナー：三輪陽子
合唱指揮：山本高栄 練習ピアノ：岡戸弘美
練習日時：毎週火曜日 pm.6:30~9:00
練習会場：名古屋音楽プラザ(金山)、芸術創造センター一他

主催：モーツァルト200合唱団、刈谷国際音楽コンクール実行委員会
共催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター
後援：愛知県、愛知県教育委員会、愛知県合唱連盟
連絡先：モーツァルト200合唱団事務局 (河田090-7959-6504)
刈谷市総合文化センター (0566-21-7430)
ホームページ：モーツァルト200合唱団 <http://mozart200chor.web.fc2.com/>
刈谷国際音楽コンクール <http://kariya.imc.com/>
チケット販売：刈谷市総合文化センター

刈谷市総合文化センター アイリス

- ・鉄道 JR東海道本線名古屋駅より約20分、刈谷駅下車、南口よりウイングデッキ直結徒歩3分
- ・お車 伊勢湾岸自動車道豊田ICより約20分、豊田南ICより約25分

